

佐渡市女性が輝く島づくり事業【新潟県佐渡市】

地域の実情と課題

- ・毎年1,000人程度人口が減少しており、その中でも20代、30代女性の社会減が顕著である。
- ・平成29年度実施の市内事業所調査では、女性の継続した雇用を困難にしている要因として、女性の「家事・育児・介護等の負担が大きい」ことが挙げられている。

事業の特徴

- ・セミナーでは、参加者が主体的に自身の問題を解決する方法を模索する1つ手段を周知するもの。
- ・類似の問題を抱えつつも、異なる価値観をもつ他者と触れ合う機会を提供することによる意識の変化を図ったもの。

事業の効果

- ・新潟県ハッピー・パートナー企業への市内企業の登録数 20団体（H25時点）→31団体（R2.2時点）へ増加

ハッピー・パートナー企業登録数の増加から、市内事業所の意識も変化してきていることが窺える。また、セミナーにおいて、市民への意識啓発も行えた。

市民意識調査を行ったことで、市内の実情・ニーズを見える化することができた。

目的・目標

- ・「子育て・介護に対する支援」について充実を図り、働きやすい職場環境づくりを推進する。
→新潟県ハッピー・パートナー制度市内登録件数 30団体を目指す。
- ・子育て、介護を行う当事者や周囲の人間の意識の変化を促し、女性が働きやすい職場環境づくりを推進する。
→女性の就業率47.5%→50%を目指す。

連携団体

- ◎佐渡市男女共同参画推進懇談会
 - ・佐渡市女性団体連絡協議会
 - ・特定非営利法人 はぐりんず
 - ・佐渡商工会女性部協議会 など

今後の課題

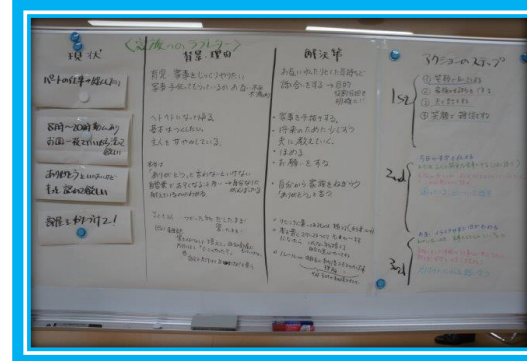
- ・高齢者への意識啓発
市民意識調査の結果、世代間での意識の差が大きく、高齢の方のほうが、性別分担役割意識が強いことがわかっている。
- ・事業所への意識啓発
企業や事業所の代表などは、年齢層が高齢の場合も多いため、若年層が働きやすい環境を整えるためにも、意識啓発が必要である。

事業の概要

男女共同参画セミナー2019

テーマ: 家庭と仕事と私

内容: 講演「ワーク・ライフ・バランスは、エンパワメントな地域、職場から」
ワークショップ「佐渡の女性がのびのび働き暮らすためのアイデアを探ろう!」



市民意識調査の実施

目的: 男女共同参画に関する意識を把握し、令和2年度からの第3次佐渡市男女共同参画計画のための参考資料とするとともに、男女共同参画社会の実現に向け、市の施策を一層充実させるため。

対象: 佐渡市に在住する満20歳から満69歳までの男女

発送数: 3,000通

回答数: 1,123通(回答率: 37.4%)

問28 自由記述欄回答(抜粋)

色々な領域でまだまだ「男社会」が根強く残っている所以意識改革が必要だと思う。

男女ともに育休、介護休暇を取得しやすい労働環境を作りたい